

住民の命を守る災害に強いまちづくりを

16日は、細野りゅう子議員が一般質問に立ちました。その要旨を紹介します。



市議会議員（4期）
細野りゅう子

細野りゅう子市議は、東日本大震災の教訓に学び、町田市が被害を最小限に食い止める施策を求めました。

災害時、避難所に避難した場合混乱なく避難所が開設できるように、避難所指定されている学校などを活用して避難訓練をおこない、避難所運用体制をつくることを求めました。防災安全担当部長が、「避難所連絡協議会を開催し、避難所を使った訓練を検討する」と答弁しました。

また、釜石の学校教育を通して身につけた子どもたちが「想定にとらわれず、逃げる」ことを実行して、地域の大人たちまで救ったという教訓に学び、避難訓練も含めた防災教育



の見直しを求めました。

保育園や学童クラブが、帰宅困難となった保護者が帰るまで預かりの体制をとったことを確認したうえで、学童での食糧の備蓄をするよう求め、子ども生活部長が「検討する」と答えました。

小学校2年生でも 35人学級を

小学校1年生の35人学級する国の学級数改正が4月15日におこなわれ、町田市内の5校で年度途中にクラス替えされることになりました。

子どもの心を考えると、クラス替えは問題だと追及し、小学2年生で40人学級に戻すことがないよう強く求めました。また中学1年の少人数学級を求めましたが、学校教育部長が「国、都の動きを待つ」と答弁しました。

震災時におこなった、コストコ多摩境店の事故について、原因究明をおこなうよう求めました。

原発ゼロへの 展望を語る

6月19日(日) 18時から
健康福祉会館・講習室

「原発からの撤退を決断し、自然エネルギーへの転換を」——原発ゼロへの展望をつかむことができる学習会です。また、被災地支援の報告もおこないます。お誘い合わせて、ご参加ください。



弁士

笠井あきら

衆議院議員